

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスのびっこくらぶ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 5日		～ 2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生に特化し、年齢や発達段階に応じた支援を提供	子どもの発達特性を把握し、楽しみながら取り組めるプログラムや、視覚支援など子どもたちが理解しやすい支援方法を考え提供しています。また、複数の活動を準備し、子どもたちが選択して取り組めるようにしています。	子どもたちの意見を取り入れながら、自信や意欲、達成感を感じることができるようにしていきます。また、自己決定する力を養っていきます。 より多様なコミュニケーション手段の導入を検討し、子どもの安心感・自己表現が高まる環境作りに努めます。
2	教具や玩具が充実しており、特に感覚統合の遊具が充実しており、様々な運動遊びの提供	豊富な教具や玩具、感覚運動遊具を活用した、楽しみながら取り組める活動の工夫をしています。	プログラムが偏らないように、楽しく安全に活動できるように努めます。 いろいろな体の使い方ができるようになり、体を動かすことが楽しいと思えるようにしていきます。
3	地域の関係機関との連携	送迎や会議、その他必要に応じて情報共有を行うようにしています。	更にスムーズな連携と情報共有ができるように、信頼関係を構築していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域交流に対する職員の意識の低さ。	地域の方との交流や社会資源を活用した活動など、職員一人一人が情報収集に努めたり、地域交流を意識したプログラムを考えるなど、子どもたちが将来、地域の中で生きていくための基礎作りをする取り組みを更に検討していきます。
2	保護者同士の交流する機会が少ない。	保護者同士で交流できたり、学んだりできる機会を検討すべきと考えているが、実際検討に至っていない。	事業所独自で保護者の意向アンケートを行ったり、家族も参加できるイベント的な活動や、保護者学習会などをどのような形で開催できるかを検討していきます。
3			